

1 第4回大河原地域における高校のあり方検討会議における主な意見について

項目	意見内容
魅力ある学校づくりに向けた地域との連携等について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が所在する町の振興発展につながるよう、将来地元に残って活躍する人材、町の職員となって行政として町づくりを考えていくことができるような人材の育成も考えられ、他県においては自治体の協力（予算）を得ている例もある。 ・地域の価値を高めて、地域の信頼を高めることが産業振興、地域振興の基本だと思う。そのような志を持った生徒がたくさん出てくるのが極めて大事だと思う。 ・地域に対する愛情や志を持ってもらうために、もっと幅広い基礎的、教養的な学びをしっかりとしていく必要がある。 ・教養的な部分と技術的な部分を大事にして、総合的に地域の発展、地域の信頼や関心を高めるような学校づくりをしてほしい。 ・高校生には、地域にいかに関与できるか、地域貢献の立場でいろいろな学習に取り組んでほしい。 ・故郷の魅力、故郷の宝に興味関心を持つような子どもを育てることが大事である。 ・地域のことや日本のことをしっかりと知っていないと国際人としては通用しない。地域理解をしっかりとできるような生徒を育成してほしい。 ・インターネットを通じた発信能力を高めるとともに、地域が一体となって情報発信の取組を進めていくことが必要である。 ・周辺の特徴ある自治体も含めて、若い世代に向かって情報発信していくことが今後の方向性として重要である。 ・この学校を卒業して地域に一生懸命貢献しようという人材を育てるために、高齢者等も含め、地域の中で暮らす人々を学校の中にどう取り込むかを考えていく必要がある。 ・例えば、空き店舗を利用した常設の商店のような地域の方々に学校がやっていることが見えるような場所を作っていくとよいと思う。 ・地域の企業との連携だけでなく、もっと範囲を広げた団体（企業、大学、専門学校）等との連携を考えていく必要がある。 ・商品開発に関して企業からの協力依頼があるような学校づくりを行うことにより、企業との連携を通して地域も活性化し、企業にも利益がでるような仕組みができればよい。 ・高校生が、地元の中学校もしくは小学校に出向き、専門の分野の講義をしてもらうことも連携につながると思う。 ・高専の分室を新しい学校の中に作ることはできないか。高等学校とより専門性のある高等専門学校を同居させることにより、学びの質を高めて、高い品質のものをつくることのできるのではないか。

項目	意見内容
<p>両校の再編統合に係る報告書(中間案)について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職業観や勤労観といった従来から専門教育に期待されているものと作物の栽培技術や IT 機器の単なる操作技術の習得だけでない高校生の斬新なアイデアを具現化した新たな産業を絶えず見据えた職業教育の拠点校であればよいと思う。 ・新しいデザインという学科と、商業と農業が一緒になることで、新たな学校のスタイルが確立できると思う。 ・6次産業化あるいは地域ブランドの確立という中で、地域産業等との連携についての学習ができるということであれば、中学生からみて魅力ある高校になると思う。 ・新たな発想で、これからの農業をどのようにしていけば儲かるか、生計を立てられるのかといったところも含めてしっかり勉強できる学校を作っていければよいと思う。 ・全国に発信できるような高校であればよいと思う。 ・高校でやれないことは、専門学校や大学と連携してやる必要がある。 ・十分に勉強できるように施設をきちんと整備すること、また、地元の大河原町にもご支援いただき、町のためになる高校としてやっていければよいと思う。 ・デザイン系学科、農業学科、商業学科、それぞれどういう生徒を、どのような形で、どういう方面で、どのようなノウハウを身に付けさせるかということをきちんと説明できるようにする必要がある。 ・宮城大学等と連携できるような仕組み、また、学生と連携して地域のことを考えていくような仕組みができれば地域ブランドの確立に近づくと思う。 ・学校として、地域、大学等と連携していけば、地域振興への貢献にもつながるのではないかと思う。 ・新学科の生徒の卒業後の姿等、何年後にどうなっているかといったイメージをきちんと出していく必要がある。 ・どのような学科が今後の社会においてニーズがあるのかを踏まえながら学科を決定していくことが必要だと思う。 ・子どもたちのニーズを少しでも反映できればよいと思う。 ・海外から入ってくるだけでなく、新しい学科を通じて、逆に日本から中国などに米等を輸出できるような気構えで新しい学科を考えてほしいと思う。 ・デザイン系というと幅広いが、クリエイティブデザインといえば中学生にも分かりやすいのではないか。 ・デザイン関係で在宅で就業することにより子育てと仕事とを両立できる、そういった考え方もこれからは大事なのかと思う。 ・デザイン系ということで、幅広いことを勉強することなのでよいと思う。 ・地域に自ら取材に行っているいろいろなものを仕入れてくる、あるいは農業や商業の分野の取組をデザインと一緒に考えるといったことで、学校が一体となって地域のブランドを確立するということについては、現段階ではデザイン系の学科がよく合うように思う。

項目	意見内容
両校の再編統合に係る報告書(中間案)について	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物は味が勝負であり，そういったものも含めて地域全体の価値を高めるような学科にしてほしいと思う。 ・地域に残る子どもを育てるためには，地域に貢献する，あるいは地域と連携するということを専門に学ぶ地域学科のような学科が必要になるのではないか。 ・IT やマーケティングのノウハウを駆使して店舗を起こすなど，起業家精神といった観点から勉強することがよいと思う。 ・それぞれの専門分野の基礎基本をしっかり教えること，その上で，6次産業に向けた教育を行うことが大事である。 ・情報系の学びを是非取り入れてほしい。 ・産業振興に関わる部門の人材を育成することを念頭においたカリキュラムを組んでほしい。 ・ものづくりと販売を通して生計が維持でき，さらにインターネットを通して世界で商売ができるというようなことを学習できるとすれば，中学生の興味をひくと思う。 ・新しい学校においては，いろいろな形で世界を意識していくこととなると思うが，基本的な教育も大事にしてしっかりやっていけば間違いなく進んでいくと思う。 ・売れるものを作っていこうという勉強ができるのがこの学校だと思う。 ・子どもたちに競争に負けないくらいのもを身につけさせて，少しでもグレードの高い人材にして送り出す必要性を感じている。